

みの EDO

発行：多治見市美濃焼タイル振興協議会
TEL 0572-43-2141
発信：多治見市・笠原町東京情報局
TEL 03-5225-6863

特集■タイルフェア レポート

建築・建材展「セラミックタイル美濃 2014」

ータイル de リノベーションー



「セラミックタイル美濃 2014」シンボルタワー



美濃焼タイルによる住空間の提案



(株)エクシズ

オリジナルデザインの企画から制作までの全工程を社内で完結するこだわりの会社エクシズが、自社デザイン工房で長年培ったアート加工のテクニックを、出来上がりのイメージを確認しながら、分かりやすく紹介する。

「建築・建材展 2014」（第 20 回）が東京国際展示場「東京ビッグサイト」東ホールにおいて、3月4日（火）～7日（金）の4日間にわたり“住宅・店舗・ビル用の各種建材や設備機器、ソフトウェア、工事・施工法、関連サービスが一堂に集まる国内有数の建材総合展”を標榜して大盛況のうちに開催された（日本経済新聞社主催）。

20 回目の開催となった今回は、「省エネ・創エネ・蓄エネ」「耐震・制震・免震」などの集中展示ゾーンに加えて、特別企画として「グッドデザインゾーン」を設けるなど、最新の各種建材や関連製品・サービスを幅広く紹介し、安全・安心で快適な住環境・商環境づくりに関す

る最新情報が発信された。

出展社数 290 社 638 小間と昨年よりスケールアップした会場に、今年も〈多治見市美濃焼タイル振興協議会〉が合同出展ブースを「セラミックタイル美濃 2014 ータイル de リノベーション」と題して展開した。地場産業である美濃焼タイルを広く展示・紹介した、タイルメーカー・商社の各ブースでは、美濃焼タイルの魅力、すぐれた機能性・意匠性・優位性などを強力にアピールした。その特長がよく表れていた各社のタイルシーンをご紹介するとともに、注目した他社の展示ブースも取り上げておきたい。

■ 建築・建材展「セラミックタイル美濃 2014」から



(株)オザワモザイクワークス

美濃焼きタイルで作成した箸置「CONTE」をはじめとして、温故知新なタイルを展示。



(株)カネキ製陶所

「タイルでリノベーション」をテーマに、内装材を中心にタイルで空間演出を提案する。



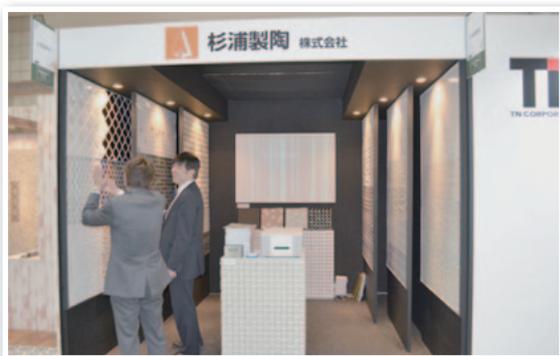
(株)コーワ

美濃焼コーワプラボタイルの展示で、カラーバリエーションの豊富さをアピール。



三協製陶(株)

長年の輸出事業の中で培った色彩感覚を活かし、個性豊かなタイルを展示する。モザイクタイル、デザインタイル、創作タイル等。



杉浦製陶(株)

商店舗空間やマンションのエントランス、居住空間を演出するタイルの展示。



鈴製陶(株)

住宅・商業施設等の内外装用タイル。今流行のタイルや、これから大いに期待できるタイルを展示する。美濃の国からお届けする国産タイル。



(株)セラメッセ

黄金のタイルを印象づけるタイル「ジバング」を中心に、新しいデザインタイルの提案を。



(株)谷口製陶所

「Komino」シリーズの新しいデザインを展示。テーマは Nature (ネイチャー) と Future (フューチャー)。

■ 建築・建材展「セラミックタイル美濃 2014」から



玉川窯業(株)

光とタイルの陰影が織り成す、立体的な意匠感が特長の内装向タイルの展示を行なう。



(株) TN コーポレーション

タイルメーカーとして自社工場による多品種・少量生産体制により、クラフト感に特長のある製品(タイル)を中心に展示。



長江陶業(株)

今までタイルは、古臭く冷たい四角いというイメージだったが、今回、住宅リノベーションに変わった形のタイル、色とりどりのタイルを提案する。



(株)名古屋モザイク工業

タイルの専門家として適切な材料を提供するだけでなく、住まいに関する夢や理想をかなえるお手伝いをしたいと、今回は女性の住空間をイメージしてさまざまなタイルを紹介。



(株)日東製陶所

自社製品のタイルを使い、タイルの使用用途をモデルルーム形式で展示。そして一般ユーザー向けのタイルを使用したインテリア雑貨の展示も合わせて。



(株)ニットー

天然木のもつ温もりと美しさを最新のセラミック技術で再現したエクステリア用セラミックタイル。タイル貼りテラスに最適なテラス専用グレーチングの紹介。



藤垣窯業(株)

内装壁や家具、建具などに、誰でも簡単に貼れるモザイクタイルの紹介。その他にも、厚さ 3.5mm の極薄天然大理石、ガラスタイルなども展示する。



(株)丸喜

商業施設からマンション・戸建住宅まで幅広く使用できる、大型セラミックタイルを展示。また、リノベーション・リフォームに最適なガチロック工法も同時に紹介。

■建築・建材展から（「セラミックタイル美濃 2014」以外の注目ブース）



TOTO

ハイドロテクトは、光触媒を利用し、光や水の力で地球も環境もきれいにする TOTO の環境技術であり、技術ブランド。今回は「ハイドロテクトの輪」の企業との共同出展となり、ハイドロテクトを使用している様々な建築材料を紹介。



ケイミュー

住宅を中心とした建物の外まわり商品（屋根材、外壁材、雨とい）のトータルメーカー「ケイミュー（KMEW）」が、光触媒をコーティングした外壁材「光セラ」を展示。



恩納ガラス工芸センター

エメラルドグリーンの海と、沖縄の美しい自然からインスピレーションを得て製作したアートガラスは、色彩豊かでユニークな製品がそろう。



高田織物

古典的な和室用畳縁だけでなく、アーガイル、水玉をイメージした畳縁や 1000 種類を超える畳縁の中から厳選したファッショ的な畳縁を展示。

■東京セミナーから



東京セミナーのもよう



金子氏の講演

多治見市美濃焼タイル振興協議会主催の恒例の「東京セミナー」は 4 日午後 5 時 30 分より東京ビッグサイト 東 5 ホール商談室にて開催された。今回は「セラミックタイル美濃 2014」のテーマに合わせて、「中古住宅×リノベーションで広がるタイルの可能性」と題して（株）リフォーム産業新聞社の編集部デスク・金子裕介氏を講師に迎えて、ストックビジネスの最前線の話から講演が行なわれた。

「リフォーム産業新聞」は 1987 年創刊のリフォームをテーマにした唯一の専門紙で、金子氏はリフォーム取材企業数 1300 社を数える豊富な取材活動をもとに、今、大きな転換期にある住宅産業の現状と、最新の中古住宅 & リフォームビジネスの具体的な事例を紹介し、中古住宅の流通、リフォーム物件の増加のなかで多様化するユーザーの変化にどう対応していけばいいか、いろいろと示唆に富む話題を提供してくれた。

店舗総合見本市 JAPAN SHOP 2014

にぎわう店が街をつくる — 未来へ向かう新たな提案



光洋製瓦

世界遺産・姫路城の瓦の窯元がつくる、伝統のいぶし素材を活かしたオリジナルな壁材やインテリア。約4日間窯の中で焼いた高品質な多孔質セラミックスで、土と炭素のみによってつくられ、人や環境にとって安全で日本独自の風合いがある。



田村光商店

本革仕様のタイル状になったもので壁床に使用可能なもの、その他、ラグや革製品等と材料としての革の展示を行なう。



サカイ

サカイリブは、空間を様々な表情に演出するサカイの内装パネル材。今年は「和」をコンセプトに未公開パネルや既存の製品にアレンジを加えたリブを展示。

「建築・建材展 2014」に隣接する東京国際展示場「東京ビッグサイト」東ホールにおいて、3月4日(火)～7日(金)の同じ会期で、“行きたくなる”店づくりのための製品・ソリューションを一堂に集めた第43回 店舗総合見本市 JAPAN SHOP 2014が、196社 555小間の出展でやはり盛況のうちに開催された(日本経済新聞社主催)。

今回は特別企画展「店舗アメニティー」に加え、特別展示「VMD Tree Shop」と企画展示「空間思考。2013年とこれから」「NIPPON MONO ICHI」「EuroShop // JAPAN SHOP Award」受賞作品展示や関連セミナーを通して、変化を続けるお店づくりや売り場演出の最新情報が発信された。



日本製図器工業

店舗什器制作機器、建材関連の生産ソリューション & 実物のサンプル展示。



モザイクタイル様のインクジェットプリント（素材は樹脂）



ミマキエンジニアリング

最新のインクジェットプリンタにより、「生産性」「安全性」「高画質」「信頼性」を軸としたインクジェットテクノロジーで印刷ビジネス拡大に向け様々な用途での機器提案及びサンプルを展示。



セラミックタイル参考出品（インクジェットプリント）

タイルの意匠性にチャレンジ！

日本の新しいモノづくりを応援するプロジェクト「NIPPON MONO ICHI」では、「魅力的な店づくりとおもてなし」をテーマに、全国から選りすぐりの8社が紹介されたなかで、特に注目したのは伝統的ないぶし瓦からモザイクタイル状に製品化された“ARARE”。出品したのは瓦メーカーの光洋製瓦で、釉薬を使わない生地だけの意匠感で勝負するインテリア素材として、新たな空間演出を提案していた。

田村商店は本革仕様のタイル様インテリア素材、内装

パネル材メーカーの(株)サカイは「和」をテーマに大胆な新柄などを展示して、アピールしていた。

技術革新の著しいインクジェットプリンタの業界からは、日本製図器工業がモザイクタイル状の樹脂意匠材を華々しく展示して強烈にアピールしていたほか、ミマキエンジニアリングが新しいインクジェット技術による本物のプリントタイルを参考出品（試作品）していたのに大いに関心を惹かれた。技術革新による競争が激化するなかで、焼物のオリジナルな質感をどうユーザーにアピールしていくかが肝要だと感じられた。